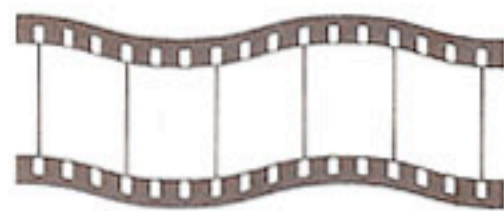


# 映画が好きなんです



空想の森

監督 田代 陽子



北海道のほぼ中央に位置する人口七〇〇〇人の新得町を舞台に、野菜を作り、酪農を営む二組の夫婦の姿を追ったドキユメンタリー映画です。

宮下喜夫さん、文代さん夫妻は、「食

農村の日常で淡々と描かれています。ごくありふれた

べ物を自分の手で育てる百姓になりたい」と関西から移り住んで三十年。試行錯誤しながら完全有機無農薬の野菜作りを実践してきました。三人の子ともたちは独立し、夫婦で自然との共生を楽しんでいます。

山田憲一さん、聡美さん夫妻は、新得共働学舎（心身に悩みを抱えた人たちとともに働く場）で出会い、結婚。憲一さんは、近くの牧場に勤め、聡美さんは、一歳になろうとする娘を連れて「学舎」の野菜畑で農業をする毎日です。夫婦は将来を模索しながら、農作業に精を出します。

すが、「ここには食べるものがたくさんある」「野菜の傍らで草を取っているのが楽しい」と、ものを作る喜び、農村で暮らす充実感が伝わってきます。

「食料自給率は一〇〇%であるべきです。いいものを作るには、手間と時間がかかる。競争するよりそれが大事です」と田代陽子監督。この考え方が、一貫して映画の底流に息づいています。

監督自身の初作品。二〇〇二年から本格的な撮影に入り、途中、財政難や自らの子宮筋腫による手術、休養などを経て、七年の歳月をかけて完成にこぎつけました。

今後、大阪での劇場公開のほか、各種映画祭でも上映が予定されています。広く自主上映も呼びかけています。自主上映の連絡先。空想の森上映委員会・電話・090(9084)2058

## ●農村で生きる充実感

## 競争するより手間と時間を

農民運動全国連合会・新聞「農民」編集部

勝又真史